

子どもたちにすてきな音楽を

音楽の楽しさを 伝えたい

朝夕と肌寒さを感じる季節がやってきた。秋が深まるこの季節は夕焼けも素晴らしい。芸術の秋・・・小学2年生からエレクトーンを習い始め高校生の時にピアノも習い始めた。現在、ヤマハのシステム講師としてエレクトーン・ピアノを教えている。音楽が大好き・スポーツも大好きで暖かな陽だまりのような五万掘地区にお住まいの飯泉さん取材する。



「子どもたちにもいい音楽のある環境をつくっていききたい」とジャズフェスに向けての抱負を語る飯泉さん

楽団四季「Jolly forest Jazz orchestra」

飯泉 順子^{さん}

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life

のすすめ

No.29

飯泉さんはみの〜れ住民楽団・楽団四季「ジョリフォレストジャズオーケストラ」(通称ジョリフォレ)のメンバーの一人でピアノを担当している。以前から広報誌等でジョリフォレの活動は知っていて、「ピアノの募集」の記事を見つけると迷わず入団。来年2月で丸3年になる。

ジャズにボサノバ、ラテン系の音楽・・・ジャンルを問わずとにかく音楽が大好きな飯泉さんだが、「子どもの頃から流行歌には興味が無かった」という。飯泉さんは「母がジャズが大好きで小さい頃からギターのライブなどに連れていってもらったり、家には全世界の民族音楽のレコードがあって眺めるのが好きだった。なかでもブラジルの音楽が大好きだった」と話す。興味が転じて仕事につながったという。そんな飯泉さんも講師になった頃は人前で歌うのが嫌いだっただ。仕事柄そうはいかなくて慣れるのに5年

位かかったという。

ジョリフォレに入団して大きな舞台に立つようになり、人前に立つことに慣れたせいかあがらなくなり仕事にも役立っている。聴音が苦手だったがジョリフォレに入団して、周りの音も聞き取れるようになったので本当に良かったと思う。

ジョリフォレは火曜日・木曜日が練習日だが仕事の都合で来れないこともあるという。「みんな向上心をもって練習している」と飯泉さん。どうしたら効率よく上手に演奏出来るか?など練習の仕方でも試行錯誤しているという。

昨年の国民文化祭では、全国デビューという貴重な体験と華やかな照明の下で良い経験をすることが出来たという。12月にも「いばらきビッグバンドジャズフェスティバル」があり、今年もいいステージになるように練習にも力が入る。「みんな音楽が大好きな方の集まりなので助けられている。」と飯泉さん。

音楽好きの飯泉さんは体を動かすのも大好きで学生時代はバスケットに汗を流した。

「負けず嫌いなのでバスケットは性に合っていた」と話す。その他にもテニスや小学校のときはスポーツ少年団で剣道も習っていたという。音楽を通して悩んだり、迷ったりしたときもあったが、小学校の頃から音楽の仕事に付きたいという夢があり、現在はその夢を叶えることが出来る、楽しい毎日をご過ごしているという。

趣味は洋楽のコンサートを聴きに行くこと。中学生以降は洋楽を聴いていた。マイケルジャクソンやマドンナが大好きだ。身近で聴くことが出来るライブハウスにも足を運ぶ。外国の有名人のコンサート。外国の有名人のコンサートのときは東京まで行く。CDを集めるのも好きで、ラジオから流れている曲をチェックしたり、ジョリフォレのメンバーからの情報聞いては、CDは買いに走るそうだ。秋から冬にかけて、みの〜れでは11月に市民文化祭、12月にはジャズフェスと大きなイベントがある。素敵な飯泉さんのいるジョリフォレのステージを是非見に来てください。

(藤田佐知子)